

## 平成 20 年度当初予算 施策別概要

<b>2 2 6 安全で安心な水産物の 安定的な提供</b>
------------------------------------

( 主担当部：農水商工部 )

- |       |                     |           |
|-------|---------------------|-----------|
| 22601 | 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保 | ( 農水商工部 ) |
| 22602 | 水産経営基盤の確保・充実        | ( 農水商工部 ) |
| 22603 | 水産生産基盤の整備           | ( 農水商工部 ) |

< 施策の目的 >

( 対象 ) 県民が

( 意図 ) 安全で安心な水産物の提供を安定的に受けている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
漁業総生産量の全国に占める割合	目標値	-	3.4%(H18)	3.4%(H19)	3.4%(H21)
	実績値	3.4%(H17)	3.8%(H18)		

海面漁業と内水面漁業の総生産量の全国シェア。平成 22 年度の目標値は、平成 23 年春に把握できる最新のデータである平成 21 年度の実績値により測ることとします。

県の取組目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H22 年度
沿岸沖合漁業および海面養殖業の生産量	目標値	-	150,000t (H18)	150,000t (H19)	150,000t (H21)
	実績値	142,545t (H17)	173,544t (H18)		

< 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・水産業を取り巻く状況は、漁獲量の減少や魚価の低迷、就業者の高齢化等に加え、「食の安全」確保への対応など、厳しい状況が続いています。
- ・こうしたことから、資源の持続的な利用をはかりつつ、自主衛生管理の促進や生産・流通体制の整備を進め、水産物を安定的に提供することが必要です。
- ・また、各海域の特性に応じた漁業を持続的に担うことができる効率的かつ安定的な経営体を確保・育成するとともに、水産基盤整備ならびに漁場環境の保全創造をはかる必要があります。

< 平成 20 年度の取組方向 >

県民に安全で安心な水産物を安定的に提供するため、生産・流通体制づくりを促進するとともに、生産履歴の記帳など指導の充実や人と環境にやさしい生産技術の導入などに取り組み、水産物の安全性および品質の確保をはかります。

漁獲量の管理等による漁業者の自主的な資源管理への支援や漁業許可、漁業権免許制度などの的確な運用により水面の秩序ある総合的高度利用を推進するとともに、関係機関との連携を密にしながら、資源の悪化が懸念され消費者ニーズの高い魚介類の種苗を生産・放流し、積極的な漁業資源の維持増大に取り組みます。

持続的に漁業を担うことができる担い手を確保・育成するとともに、漁業協同組合が地域の水

産業の振興に十分な役割を果たせるよう、財務改善の取組を支援するなど、漁協の組織・経営基盤の強化をはかります。

荒天時にも安心して使用できる漁港の整備や、県民の生命と財産を守るための海岸保全施設の整備を進めるとともに、水産資源の生育環境を保全・創造するための魚礁の整備、漁場環境の保全事業を積極的に推進します。

< 主な事業 >

( 重 ) 東紀州地域の水産業活性化対策事業

【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

( 第 6 款 農林水産業費 第 5 項 水産業費 1 水産業振興費 )

予算額： 8,045千円 7,568千円

事業概要：地域特性を生かした持続的養殖の推進や経営安定に向けて、ヒロメ（海藻）の複合養殖の技術開発に取り組むとともに、マハタの特産品化や、マダイ養殖の「生産情報公表 J A S」の認証取得に向けたモデル的な取組を支援します。（ J A S 取得取組支援：2 地区実施予定等）

漁業取締船整備事業【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

( 第 6 款 農林水産業費 第 5 項 水産業費 3 漁業取締費 )

予算額： 468,453千円 276,480千円

事業概要：漁業取締業務の機能強化をはかり、漁業秩序の維持・向上のため、老朽化した漁業取締船「伊勢」の代船の建造に着手するとともに、漁業取締船「はやたか」の法定定期検査を実施します。（代船建造：1 隻）

種苗生産推進事業【基本事業名：22601 水産資源の持続的利用と安全・安心の確保】

( 第 6 款 農林水産業費 第 5 項 水産業費 5 資源管理費 )

予算額： 111,250千円 102,612千円

事業概要：沿岸の水産資源の維持増大をはかるため、三重県栽培漁業センター（浜島）及び尾鷲栽培漁業センターにおいて、マダイ、ヒラメ、トラフグ、クルマエビ、ヨシエビ、アワビなどの放流用種苗の生産供給を行うとともに、ナマコの種苗生産技術の実証化試験を行います。（マダイ：65万尾生産予定等）

( 新 ) 漁協経営改革促進事業【基本事業名：22602 水産経営基盤の確保・充実】

( 第 6 款 農林水産業費 第 5 項 水産業費 2 水産業協同組合指導費 )

予算額： 千円 5,000千円

事業概要：国が平成20年度から実施する予定である「不振漁協再建対策」に対応するため、経営改善計画の策定・実施を通じて経営の再建に取り組む漁協を市町と連携して支援することで、経営不振漁協の再建を進め、漁協系統組織の再編整備を促進します。（漁協経営改革促進補助金の交付等）

( 舞 ) 閉鎖性海域再生のための漁場環境保全創造事業

【基本事業名：22603 水産生産基盤の整備】

( 第 6 款 農林水産業費 第 5 項 水産業費 6 水産基盤整備費 )

予算額： 790,000千円 732,348千円

事業概要：閉鎖性海域（伊勢湾、英虞湾）において悪化する生産力・水質浄化能力の回復や

富栄養化した底質の改善をはかるため干潟・藻場の造成や底泥の浚渫を行います。

県営地域水産物供給基盤整備事業【基本事業名：22603 水産生産基盤の整備】

(第6款 農林水産業費 第5項 水産業費 6 水産基盤整備費)

予算額： 642,500千円 500,000千円

事業概要：水産業の活動の拠点である漁港について、高波等の発生時にも安全に漁船の係留及び漁業活動ができるための防波堤、護岸等の整備を行い、機能の増進と安全性の確保を行います。